

第7回 生物・化学汚染による健康障害の建築的対応 特別研究委員会
議事録

記録：長谷川

- A. 日 時：2007年7月18日 17:30～19:30
- B. 場 所：日本建築学会会議室
- C. 出席者：<委員長>吉野 博 <幹 事>加藤信介, 田辺新一
<委 員>池田耕一, 大澤元毅, 桑沢保夫, 坂口 淳(赤林代理), 篠原直秀,
長谷川兼一, 坊垣和明
<オブザーバー>渡辺利沙 (順不同, 敬称略)
- D. 資 料：No.7-0 議事次第
No.7-1 第6回 議事録
No.7-2 検討課題のキーワード
No.7-3 委員会の活動計画
No.7-4 吉野 WG での活動進捗状況
・ 居住環境条件と小児アレルギー・喘息との関連性に関する調査
・ 吉野 WG 疫学調査実施メモ
No.7-5 住宅のかび・ダニ等の実態調査報告会 (No.6-7)
No.7-6 スペシャルセッション企画案
- E. 議 事
1. 前回議事録の確認が行われた。(資料 No.7-1)
 2. WG の進捗状況が報告された
(ア) 加藤 WG：話題提供にて報告。
(イ) 吉野 WG：資料 No.7-4 に基づき、現在進めている疫学調査の概要が説明された。
 3. ホームページは随時更新されていることが報告された。
 4. 資料 No.7-2 に基づき、検討テーマのキーワードが確認された。「1. 室内におけるカビ汚染の実態」にシックハウスの遺伝的要因(坂部委員話題提供)、住宅のかび・ダニ等の実態調査(大澤委員話題提供)を追加する。
 5. 委員会の活動計画(資料 No.7-3)について確認された。
(ア) 話題提供
✓ 赤林委員にも話題提供いただくようお願いする。
(イ) シンポジウム・ワークショップの計画
✓ IAQVEC でのスペシャルセッションの企画案が、資料 No.7-6 により確認された。報告者には論文発表と同程度の時間を割り当て、プレゼンテーションできるように検討する。
✓ 最終成果のシンポジウムを企画することとなった。これまでの検討内容を踏まえて、問題点の整理を行うとともに、今後の課題を明らかにすることを主旨とする。開催は今年度末とし、建築会館大ホールにて3月10日あるいは17日の13時から18時を候補とする。(後日、2月開催も含めて再検討することとなった。)
 6. 加藤委員より、加藤 WG での進捗状況を含めてバイオセンサーに関する話題提供が行われた。
 7. 大澤委員より、住宅のかび・ダニ等の実態調査結果について話題提供が行われた。
 8. 次回：欠席の先生方の都合を伺い、9月18日(火)か9月25日(火)のいずれかに設定することとなった。
→ 9月18日(火) 17:00～19:00 於：建築会館会議室
話題提供は、桑沢委員と柳先生にお願いする。